

緊急事態宣言解除後の幼稚園の運営について

6月より奇数月、偶数月での登園としました。期間は今のところ2週間から1か月程度と考えています。その後保育時間の変更、バス運行の再開など、順次行なっています。連絡アプリやホームページで連絡をしていきますので、必ずご確認ください。新型コロナウイルスの感染状況によっては、この内容も随時変わります。皆さまも不安のある中での登園になると思います。疑問や質問はいつでもお答えしますし、一緒に考えて頂いて、より良い教育の場となればと思っております。

<保育中の留意事項>

政府より、新しい生活様式と言われていますが、幼稚園教育において接触は避けられないし、接触しない人間関係が子どもの真の教育に相応しいのかという疑問を持たざるをえません。子ども同士が遊びながら互いへの意識を持ち、成長していく過程において、教員が適切にかかわっていくのが幼児教育です。今回の新型コロナウイルス感染症を予防する環境設定は幼稚園では徹底しきれないことを予め保護者の皆さまにお伝えし、子どもから教員への感染、子ども同士の感染、教員から子どもへの感染、そういったリスクがないとは言い難いと、申し上げておきたいと思えます。そして、そのリスクをお互いに承知の上で、幼稚園にお子さんをお預け頂きたいと願う次第です。なお清掃の人員を増やし、子どもが触れるところを重視し除菌するようにします。

◆マスクの着用について

休園中、ご自宅で手洗いの指導して頂いたとは思いますが、子どもが自ら正しいマスクの着用、適切な手洗いの実施など、基本的な衛生対策を十分に行なうことは年齢的に難しいものです。

幼稚園で、子ども達がマスクを着用する必要はないと考えます。むしろ、してこないことをお願いします。ご納得いかない方のために一応記載しますが、子どもによってはマスクを舐めたり、鼻マスクになつたりします。暑くなってくれば、必ずはずし、いじります。マスクが感染防止になるところが、逆に不潔に思われることが多いからです。

ただし、幼稚園で感染症予防の必要性について話す機会は、時期を見て設けます。

マスクの着用は年長（6歳以上）の子どもにおいて、ご家庭でどうしても必要と思われる方のみとします。

◆室内の環境設定（教室前に除菌アルコールを設置）

- * 教室では遊びたくなる拠点の分散、子ども同士が向かい合わないような遊具の配置、教員による援助を行ないます。
- * 遊びながらも、接触を減らせるような工夫をします。
- * 歌をうたう時にはできる限り間隔を空け、同じ方向に向かって歌うようにします。

◆教員との接触について

- * 教員からすすんでタッチやハグすることは避けます。子ども達からのリクエストにはもちろん応えます♪
- * 必要に応じて子ども同士、教員と手をつないだり、抱っこする場合があります。

<バスを利用する場合>

今後、バスの運行を再開いたしますが、バスを利用されるお子さんは下記のことをご確認の上ご利用ください。

バスは特に密になり、風邪やインフルエンザ、嘔吐下痢もバスから感染することが多いのは、これまでの経験からよくわかっています。バスをご利用するにあたり、リスクをご了承くださった上でご利用くださるよう、くれぐれもお願ひ致します。

◆バスの環境

- * 窓は常時空けて換気します。（転落しない程度に調節可能）
- * 一便毎に子どもが触るところを消毒します。
- * 乗車前に消毒してください。（バスの乗務が用意しています）